Q 通り芯の交点を基準にして、他のフロアの同じ位置に要素を コピーして貼り付けたい

A 「高さの基準」を、コピーする要素の基準フロア名に変更して から[基準位置を指定してコピー]をします

[基準位置を指定して⊐ピー]で要素を複写する際に通り芯の交点で基準位置を取得すると、通り芯の高さが貼り付け時の 基準高さになります。

通り芯の高さは、[フロアの設定]-[高さの基準]で設定したフロアラインの高さ(Z=0)です。

基準位置(通り芯の交点)と複写した要素間の相対的な高さを維持した状態で貼り付けます。

他の階に複写する場合、[高さの基準]を要素の基準フロアに変更してから複写すると、貼り付け時に配置する基準フロア を指定して貼り付けをすることができます。

(例)基準フロア「2FL」の要素を複写し、3FLに貼り付けます。



[建築]タブの[フロアの設定]をクリックします。

1 「高さの基準」を「2FL」に変更します。

艶 ホーム 図形 配管 ダクト ### \$\$ \$\$ E スリーブ・インサート 建築 ツール 加工 表示 アドイン ◎ 居き換え 🧫床 🎯 フーチング 🔻 🛐 扉 □ 天井占検□ 参加 材質記号 000 (X1) ♥3FL ♥ZFL 500×800H 自動包絡 💱 表示/非表示 🔙 仕上げ線 通り芯の 通り芯の 一括作図 作図 707の
設定 フロアの設定 🗿 印刷範囲 涩 柱▼ 🗙 手動包絡 ・図面表現 匀絃 階高 階床名 Z座標値 Î 4FL 1 3EL 4000 4000 2FL 4000 1FL 4000 -4000 挿入 削除 高さの基準 2FL 指定したフロアが Z=0 の高さになります。 フロアラインの作家 設定の読み込み・保存 🔹 🔻 OK キャンセル

[基準フロアの変更]ダイアログの「データ全体を移動する」を選択します。 2

原点の高さが 2FL のフロアラインに移動します。

	の変更 ×
1	高さの基準が変更されました。変更方法を指定してください。
ר ()	17線だけを変更する 既に作因したデータはそのままで、目盛りのフロア線だけを変更します。
	<u>▼1FL</u>
÷ (ータ全体を移動する 図面上のデータ全体をフロアに合わせて移動します。
	▼2FL ↓ ▼2FL ↓ ↓ ▼1FL



複写する要素を選択し、コンテキストメニューの[複写-基準位置を指定してコピー]をクリックします。 3 基準位置を通り芯の交点で指定します。





要素を貼り付けます。 イ コンテキフレノート ク

コンテキストメニューの[貼り付け	ナ]をクリックしま	す。	
「高さ」にチェックを入れ、「3FL	」の「0 mm」を指	定します。	基準位置の高さを指定します
🅙 ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器	器具 スリーブ・インサート 建	主祭 ツール 加工 表示 アドイン 🏥 貼り	र्तित
🗌 区分 🔻 汎用 🔍	ロレイヤーのファイル名	🛛 高さ 🛛 mm 🦳 3FL 🛛 📢	□ ルートに挿入する □ ルートを伸縮接続する
🔞 レイヤー 🔿 🐼 🖬 文字 🛛 🔛	└─ を1米持する		検索範囲 水平方向 1.5m 🗸 🔶 😽
—— 0.01mm ———— 実線 🛛 🌌	۷		垂直方向 0.5m 🗸 📥 📇
レイヤー	貼り付け方法	高さ	接続方法

基準位置の箇所でクリックし、要素を貼り付けます。



貼り付けた要素の基準フロアは「3FL」になります。

◎ 配管		~
⊞ 共通		-
⊞ デザイン		H I
⊞ 用途		1
団 材料		2
□ サイズとルート		×
サイズ	40A	~0
基準フロア	3FL	-++
2975	いいえ	渉
高さ	-400 mm	金
天端高さ	-375.7 mm	1-21
下端高さ	-424.3 mm	

「高さの基準」を戻します。

6 [建築]タブの[フロアの設定]から「高さの基準」を「1FL」に戻します。

ロアの設定			×		基準フロアの変更
階床名	階高	Z座標値			高大の基準が変更されました。変更方法を指定してください。
4FL		12000	L		
3FL	4000	8000			
2FL	4000	4000			○ フロア線だけを変更する 既に作図 ホデータはそのままで、日感4のフロア線だけを変更します。
1FL	4000	0			
挿入	削除				
高さの基準	1FL		<u> </u>	\neg	<u>▼1FL</u>
	指定したノロアがユニロ	い向くになります。			 ● テーダ全1本を移動する 図面上のデータ全体をフロアに合わせて移動します。
	F区 込み・保存 ▼	OK	キンセル :		